



全力を出し切った！！—御船町学童陸上記録会—

9月25日（水）、御船町学童陸上記録会が、御船町民グラウンドで行われ、町内すべての小学校の5・6年生が参加しました。

種目は、5・6年男女100m走、5・6年男女800m走、そして、5・6年男女400mリレーです。100m走は全員参加、800m走は希望参加、リレーはタイム順にクラスごとに選抜されます。

御船小の子供たち、全力を出し切り、頑張りました。リレーで1位になると、飛び跳ねて喜んでいました。他校の子供たちと親睦を深める場ともなりました。

一人一人の授業力アップを目指す御船小校内研

全ての小中学校で、教員一人一人の授業力向上をねらって、校内研を行っています。御船小学校では、国語科学習を核として校内研を行っています。

学校用語で分かりにくいかもしれませんが、御船小の先生方の頑張りを伝えたくて、紹介します。

例えば、研究授業・授業研究会を行っています。本校では、研究授業を大研と小研に分けて行っています。大研とは、全ての教員が授業を参観し、研究会を行うものです。一方、小研とは、大研を行わない隣接学級の担任が、大研と同じように授業をやってみるものです。小研でやってみて分かる改善点を大研に生かすのです。こうして、研究授業を一人の「苦役」にせず、教員一人一人の授業力向上につながると考えています。

本日は、1年1組で小研を行いました。授業者は、担任の本山那菜先生です。

教材は、小学校に入って出会う二つ目の説明文「うみのかくれんぼ」です。初めて学習する「大事な言葉を探す技」を獲得できる教材です。

来週、1年2組で大研を行う永嶺芽生先生をはじめ、研究部の佐々木雄亮先生、中村泉先生、酒井優子先生たちと試行錯誤した授業です。

それでも、実際、やってみると、もったこうしたら…が出てきます。改善点を探す力が、一人一人の授業力の向上につながります。

働き方改革を進めることで生まれた時間に、御船小の先生方は、子供たちのために授業力向上に努めています。

